

気管支拡張症とCOPDの病態と管理

座長

丸毛 聡 先生

公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院
病院長補佐 兼 呼吸器内科主任部長 兼 感染症科部長
兼 感染制御対策室室長

演者

田辺 直也 先生

京都大学医学部附属病院呼吸器内科/リハビリテーション科 病院講師

日 時

2025年11月27日(木) 19:00 ~ 20:00

本Webセミナーは追っかけ再生に対応しております。
Webセミナー終了前までに視聴を開始されると、追っかけ再生による視聴が可能です。

視聴方法

詳しくは裏面をご確認ください。

気管支 **拡張症** navi (気管支拡張症に関する医療従事者向け情報サイト) <https://www.benavi.jp/>



主催：インスメッド合同会社メディカルアフェアーズ部

気管支拡張症とCOPDの病態と管理

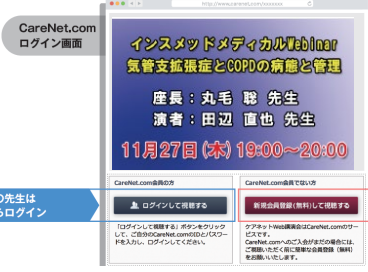
気管支拡張症は気管支の永続的な拡張を特徴とし、慢性気道炎症、慢性気道感染、粘液線毛クリアランスの異常、肺の破壊からなるvicious vortexにより病態が形成される。好中球性炎症が中心的役割を果たし、好中球セリンプロテアーゼの増加は増悪や病原体検出と関連する。COPDも主に好中球、マクロファージ、CD8細胞による気道炎症を呈し、両疾患には多くの共通点がある。実際、気管支拡張症患者の25%にCOPDが合併し、COPD患者の25～69%に気管支拡張が認められる。合併例では、プロテオバクテリア門の占有率増加、好中球炎症の増強、ムチン産生増加など、より重症な病態を示す。気管支拡張症診断に至らない慢性気道疾患の胸部CTと喀痰細菌叢(16Sシーケンス)を用いた検討では、気道DPP1高値と好中球炎症が、粘液栓を伴わない初期の気管支拡張形成に関与する可能性が示唆された。COPDに合併した気管支拡張症の治療としては、COPDに対する長時間作用型気管支拡張薬に加えて、気道クリアランスの改善、長期マクロライド療法など、複合的なアプローチが重要である。

CareNet.comからのご視聴方法

URL

https://www.carenet.com/insmed_251127にアクセスしてください

1



登録済みの先生は
こちらからログイン

未登録の先生は
こちらから新規会員登録

2



講演会案内画面

講演会開催時刻に講演会画面にアクセス頂くと講演会をご視聴いただけます

簡単なアンケートにご回答のうえ、事前予約をお済ませください。予約をすると、講演会のリマインドメールを受け取ることができ、スムーズにご視聴いただけます

新規登録をご検討の先生へ
CareNet.comに新規会員登録を頂いた場合、ご視聴いただくまで数日のお時間を頂戴します。講演会当日の直前にご登録いただく講演会をご覧いただけない場合がございますので、お早めにご登録くださいますようお願い申し上げます。

ご不明な点は・・・ **CareNet** ケアネットカスタマーセンター <https://contact.carenet.com>

CareNet.com会員以外の医師、医師以外の医療従事者の方のご視聴方法

① 下記までご連絡ください。

satoru.aizawa@insmed.comまでメールにて開催日前日までにご連絡をお願いします。その後、視聴URLをご連絡させていただきます。メールにてご提供いただいた個人情報は、インスメッド合同会社のホームページ記載の「プライバシーポリシー」(<https://insmed.jp/privacy/>)に則った目的にのみ利用させていただきます。

② Web講演会の本番視聴



- 1 視聴URLにアクセスします。
- 2 情報入力を行い「視聴する」ボタンを押下してください。
- 3 視聴画面の「再生」ボタンをクリックします。

補足: 事前視聴確認 Web講演会の前日までに、当日と同じ視聴環境で必ず事前視聴確認を行ってください。

情報入力ページにアクセスし「視聴環境確認」をクリックしてください。速度チェック及び視聴チェックを実施し、不具合がないかご確認ください。